

大学息を潜めて

例年なら新入生の歓迎行事で盛り上がる大学のキャンパスが、静まりかえっている。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、入学式が中止され、授業開始が延期になっているからだ。

「学生の行動が感染を広げる恐れがあったため、やむを得ない。状況が状況なので、学生も理解してくれている」。小樽商科大（小樽市）の担当者はそう語った。

入学式中止 ■ 授業開始延期

入学式は中止し、今月2日に予定していた新入生向けの説明会を20日にずらし、授業開始日も5月7日に延期。当面、サークルなどの課外活動を認めず、学内施設の利用も禁じた。同様に入学式を中止した北海道大（札幌市）は、新入生向けの説明会も取りやめ、授業開始を5月11日に延期。サークル活動も取り



新歓行事などが中止されて閑散とする北海道大のキャンパス（10日）

やめるよう学生側に要請し、新入生向けの勧誘ビラの配布も禁じた。北見工業大（北見市）では、入学式中止や授業開始の延期に加え、ウイルスの潜伏期間を考慮し、新入生と在学生の双方に対して15～29日の2週間、自宅待機を要請した。北見市内では展示会で集団感染が起きており、同大学務課は「学内で集団感染が起き、地域住民にうつすことは絶対に避けなければならない」と

説明した。鈴木知事は3月31日、全40大学を含む道内229教育機関に対し、学生への注意喚起を要請している。感染症予防に詳しい北海道医療大の塚本谷子教授は、「在学生が海外旅行から帰国したり、新入生が道外から入学してきたりする時期で、大学の感染対策は今が正念場。まずは、ウイルスを学内に持ち込まない取り組みが重要だ」と指摘。そのうえで、「講義で座席を指定し、感染者が出たときに濃厚接触者を追える仕組みや、オンラインで講義を受けられる環境なども整備する必要がある」とした。

学生ネットで新歓活動

入学式やオリエンテーションの際に新入生への勧誘活動を実施していたサークルや部活は、インターネットに活動の場を移している。カントリー調のアメリカ音楽「ブルーグラス」の愛好家で作る「北海道大ブルーグラス研究会」は、キャンパス内でのビラ配りやデモ演奏ができなくなったため、ツイッターに演奏の動画やサークルの説明資料を掲載した。代表の水口晃輔さん（20）（3年）は「新入生を集めて活動を知ってもらうことができず、厳しい状況」と嘆きつつ、「学生生活の安全を考えると、（大学側の判断は）やむを得ない。SNSでの宣伝効果を試す良